

ゆいはま こどもの夢応援・研修プログラム



湯梨浜町ホームページ 子育て・教育

段階	胎児期	乳児期・幼児前期	幼児後期	児童前期	児童後期	青年前期
年齢	生まれる前	0～3歳	4～6歳	7～9歳	10～12歳	13～15歳
こどもの発達段階(目安)	<p>赤ちゃんはお母さんの気持ちをしっかりと感じています</p> <p>○赤ちゃんは、お母さんのおなかをなでられたり優しく話しかけられたりすると安心し、お母さんが怒ったり哀しみを感じたりすると不安を感じます</p>	<p>たくさんの愛情を受けることで保護者への信頼を育みます</p> <p>○少しずつ保護者等の家族から離れ、他者とかかわりはじめます</p> <p>○少しずつ周囲への好奇心がめばえまします</p> <p>○不安になった時、信頼できる人に見つかり、抱っこしてもらえると安心してやる気が出ます</p> <p>○早寝早起きなどの生活習慣の基礎が身につきます</p>	<p>集団の中で一緒に遊べるようになってきます</p> <p>○友達への思いやりをもつことができるようになります</p> <p>○親を見習いながら良い悪いの判断基準がはっきりしてきます</p> <p>○自然や生き物に興味をもつようになります</p> <p>○身の回りのことが自分でできはじめ、基本的な生活習慣も身につけてきます</p>	<p>集団の中で我慢や譲り合い、交代ができるようになってきます</p> <p>○集団の中で役割を決めて遊ぶことができるようになります</p> <p>○善悪の判断や規律意識の基礎ができます</p> <p>○自然や生命をいつくしむことができます</p> <p>○身の回りのことができるようになります</p>	<p>集団の中で自分の役割を意識し、責任を果たせるようになってきます</p> <p>○他者との関係の中で自分のことを考えたり、他者への接し方を考えたりするようになります</p> <p>○自分の感情や欲求を抑えることができるようになり、トラブルを解決しようとするできるようになります</p> <p>○失敗から学ぶことができるようになります</p>	<p>自分のよさを実感したり、短所を自覚したりできるようになってきます</p> <p>○仲間関係が強くなり、特定の友人との深い人間関係を築くようになります</p> <p>○異性との望ましい関係を学びはじめます</p> <p>○反抗期に入り、情緒が不安定になります</p> <p>○自他の生命の重さが理解できるようになります</p>

子育てのポイントを確認し、子どもたちの夢の実現をみんなで応援していきましょう

<p>誕生を喜び、子育て情報を得て、イメージづくりをしましょう</p> <p>☆健康に心がけましょう</p> <p>○休息、睡眠、栄養、適度な運動を心がけましょう</p> <p>☆子育てのイメージを具体的に持ちましょう</p> <p>○家庭での家事や育児の協力、分担について話し合しましょう</p>	<p>愛情いっぱいな家庭のふれあいを大切にしましょう</p> <p>☆0歳～1歳くらいまでは、赤ちゃんの望んだことはすべてかなえてあげるとい気持ちで育てましょう</p> <p>○温かい言葉かけやスキンシップを心がけましょう</p> <p>☆身の回りのことを子ども自身がやり遂げることができる実感を体得させましょう</p> <p>○早寝早起きをし、食事の時刻、睡眠時間等を可能な範囲で一定にするようにしましょう</p> <p>○トイレトレーニングを少しずつ行いましょう</p> <p>☆親の接し方が子どもの将来を左右することを理解しましょう</p> <p>○「ありがとう」「ごめんなさい」を親(保護者)が伝えましょう</p> <p>○父親母親など周りの大人が協力して育児に取り組みましょう</p>	<p>遊びや生活の中で、ほめたり認めたりして、ルールを身につけさせましょう</p> <p>☆親が手本を示したり一緒にやって見せたりして、基本的なしつけをしましょう</p> <p>○あいさつやルールを守る親の姿で子どもに手本を示しましょう</p> <p>☆自分でしようとする子どものやる気を育てましょう</p> <p>○親が手本を示しましょう</p> <p>○一緒にやってみせましょう</p> <p>○子どもの手伝いなどをしようとする姿を笑顔でほめましょう</p> <p>○子どもの気持ちをしっかりききましよう</p>	<p>様々な活動をとおして、知・徳・体のバランスのとれたしつけをしましょう</p> <p>☆子どもが規範意識を身につける大切な時期だと意識して、親の行動をとおしてよりよいお手本を示しましょう</p> <p>○早寝早起き朝ごはんなど生活リズムを整えましょう</p> <p>○親が子どものあいさつやお手伝いなどの姿をほめましょう</p> <p>○家庭学習習慣確立のための声かけをして、見届けましょう</p> <p>☆子ども同士のトラブルに冷静に対処しましょう</p> <p>○わが子の話だけをうのみにしないで状況を確認しましょう</p> <p>○親の判断で子どもの人間関係をコントロールしないようにしましょう</p> <p>○いつでも相談できる学校との関係づくりを心がけましょう</p>	<p>自分が必要とされていると感じるこどもの気持ちを育てましょう</p> <p>☆家族の一員としての役割をもたせ「自分は家族の中でなくてはならない大切な存在である」と感じさせましょう</p> <p>○学習やお手伝いなどさまざまな経験を積み「自分は自分なりにやطيعける力がある」と感じさせましょう</p> <p>☆子どもと仲間の育ちあいを支えましょう</p> <p>○子どもとの会話をとおして、子どもの人間関係を把握しましょう</p> <p>○地域行事や体験活動に、子どもとともに積極的に参加しましょう</p> <p>○子どもが失敗したり悩んだりしている時は、よき相談相手となりましょう</p>	<p>家庭が安らぎの場となるよう、子どもを温かく見守り、適宜助言しましょう</p> <p>☆自己肯定感(自分のことが好き、自分は生きている価値があると思う気持ち)を育てましょう</p> <p>○他者との比較ではなく、子ども自身の長所をほめ、「自分は大切な存在である」と実感できる機会をつくりましょう</p> <p>○子どもの将来について親の願いを伝える機会を設け、こどもの将来の夢や自己実現に向けて働きかけましょう</p> <p>☆子どもを一人の人格者(大人におかたって成長している人)として認め、接しましょう</p> <p>○思春期の心と体について理解しましょう</p> <p>○わが子に対する願いを子どもに語る機会を持ちましょう</p> <p>○家族が互いに尊敬し合いましよう</p>
---	---	--	---	---	--



※子どもの発達には個人差がありますので、一つの目安としてください